令和８年第４回木津川市議会定例会

請　　願　　文　　書　　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
８－２	令和８年 １１月１７日	ごみ袋の値下げと基金の市民への還元を求める請願	１　請願の趣旨 現在、市民生活は長引く物価高騰により大きな影響を受けています。食料品や日用品、電気・ガス料金、水道料金など生活に欠かせない支出が大きく増え、多くの市民が家計のやりくりに苦慮しています。 そのような中、木津川市では家庭系可燃ごみ指定袋の有料化により徴収された手数料を「循環型社会推進基金」として積み立てていますが、市の決算資料によると、基金残高は令和６年度末で約３億５千万円に達しており、毎年度の積立額が基金の活用額を大きく上回る状況が続いています。そんな中、古紙回収やビン・カン分別などに基金の投入を始めています。基金の目的外使用です。 市民から負担を求めて積み立てられた基金が大きく増え続けている現状を見ると、今こそ、物価高騰に苦しむ市民生活を支えるため、積み上げられた基金を積極的に活用するとともに、ごみ袋有料制度の在り方について検証・見直しを行う時期ではないでしょうか。それは、行政への信頼を高めることにもつながります。 よって、木津川市議会におかれましては、下記の事項について市に求められるよう請願いたします。	みんなの木津川市をつくる市民の会 木津川市木津川台 霜田　勤 木津川市南加茂台 村城　恵子	西山 幸千子	厚生 常任委員会

			２　請願項目 １．物価高騰による市民負担の軽減とさらなる可燃ごみの減量を図る観点から家庭系可燃ごみの指定袋有料制度を検証し、制度の見直しを行うこと ２．ごみ袋価格の引き下げや一定枚数の無料配布で、子育て世帯・高齢者世帯などへ支援し、市民負担軽減を行うこと			

令和８年第４回木津川市議会定例会

請　　願　　文　　書　　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
８－３－１ ８－３－２ ８－３－３	令和８年 １１月１７日	木津川市のすべての子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書	１　請願の趣旨 子どもたちが健やかに成長し、安心して学び、育つことのできる環境を保障することは、社会全体の責務であり、私たち大人に課せられた最も大きな使命の一つです。しかし、物価高騰の波が家庭の暮らしを直撃し、子育て世帯の経済的負担はますます大きくなっています。また、学校や保育の現場でも、安全と学びを支えるための環境整備や人員配置が十分とはいえない状況があります。 ２０２６年度から国による小学校給食費の「抜本的な負担軽減」が始まり、児童１人当たり月５，２００円を基準として国から支援されることになりました。この制度を活用して、木津川市・京田辺市を除く、京都市を含めた府下各市町村で小学校給食費の完全無償化が実現しています。木津川市においても、小学校給食費の完全無償化を早急に実現することを求めます。 中学校給食費は、値上げされたことで昨年度と比べ大きな保護者負担となっています。国の小学校への支援にとどまることなく、木津川市においても保護者の給食費負担を軽減する施策を実施することを求めます。 次に、小・中学校の特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、図工室など）へのエアコン設置についてです。近年の猛暑は、子どもたちの健康と学習に深刻な影響を及ぼしています。授業で使用するすべての教室で適切な室温を確保できるよう、エアコンの設置を求めます。	木津川市いきいき子育てネットワーク 木津川市鹿背山 代表　　柯　千絵	宮嶋　良造	総務文教 常任委員会 【1-2-3】
８－３－４						厚生常任 委員会 【4】

			また、保育士の配置基準については、子どもたちの安全と健やかな成長を保障するため、さらなる改善が必要です。保育士の負担を軽減し、災害が多発している状況の中で、本気で子どもたちの安全を保障するためにも、配置基準を見直すよう国に強く働きかけることを求めます。 子どもたちは木津川市の未来を担う大切な存在です。子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、学校・保育の環境をより良いものにするため、下記の事項について実現に向けた取り組みを進めていただくようお願いします。 ２　請願項目 １．京都府下で木津川市・京田辺市以外の自治体で実施されている小学校給食費の無償化を早急に実現してください。 ２．中学校給食費について、保護者の負担を軽減してください。 ３．小・中学校の特別教室にエアコンを設置してください。 ４．災害が多発しています。子どもたちの安全を保障するためにも、保育士の配置基準を見直すよう国に強く働きかけてください。			